

小諸なる古城のほとり

雲白く遊子悲しむ

緑なすはこべはもえず

若草もしくによしなし

学年

小六

氏名

※次のむすび方でもよい。「な」「ほ」

## 課題解説

明治から昭和前期まで活躍した詩人、島崎藤村の「千曲川旅情の歌」に収められており、ファンは多い。詩を指折ってみてください。「5・7、5・7・・・」と続きますね。5・7調は、日本を代表する言葉の調子、韻律です。遊子とは旅人のことです。